

1学期を振り返って

1学期もあっという間にまとめの時期となりました。感染症対策をしながらの可能な範囲ではありますが、この3ヶ月間、子どもたちは一生懸命に担任の話をきいて学習に取り組んでいました。時には難しかったことも繰り返し練習してできるようになったり、友だちと一緒に相談しながら乗り越えたり、それぞれが大きく成長しました。終業式には、一人ひとりの成果を「のびゆく子」でお伝えします。ご家庭でも、成長と頑張りを認め、子どもたちと同じ気持ちで喜んであげていただけたら嬉しく思います。



さて、古い話になりますが、4月の始業式では2年生以上の子どもたちに「周りの人に優しくしましょう。」と3回繰り返して伝えました。「自分より小さな子や自分より弱い立場の人のことをどれだけ思いやれるかが、その人の心の大きさです。この大空のような広い心を育てていきましょう。」ともお話ししたと思います。

子どもたちの様子を振り返りますと、朝の支度や給食の片付け、掃除の手伝いするとき、委員会活動のときなど、1年生に笑顔で優しく接している5年生、6年生の姿が見られたり、それぞれのクラスの中でも、うまくできない人に付き添って見守ったり、手助けしたりしようとする姿がたくさん見られました。相手のことや立場をよく考えて行動できる子が多く、またその姿がとても自然で微笑ましく、嬉しく思いました。

5月の朝会では学校教育目標「ともに学び ともに育つ」についてお話ししました。勉強は一人でできることもあるけど、友だちと一緒にじゃないとできないこともあって、それは楽しいだけでなく面倒で難しいこともあるけど、大人になるまでにはとても大切なことなのだという話をしました。また、だからこそ、みんなが学校で勉強できるよう友だちには優しく接して、みんなが安心して過ごせるクラスにしてほしいことを伝えました。

うまくできないこと、苦手なことは誰にでもあります。やらなきゃいけないとわかっているけどすぐ行動できないこと、頑張っているけどできないことは大人にだってあると思います。わかってほしいのは頑張ろうとしない人は誰もいないということ。自分を基準に考えるのではなく、できていないことを見つけて責めるのではなく、どんな人もその人なりに頑張っているんだという理解のもと、もし気になるのであれば自分にできることは何かを考え、行動できる力を育ててほしいと願います。

学校は社会の縮図。そういった考え方や力を養って社会に出て行けたなら、きっとその人の周りにはたくさんの笑顔があふれていることでしょう。20年後、子どもたちが笑顔に包まれた豊かな人生を歩んでいくことができるよう、ご家庭でも、学校で学ぶ意味について、折に触れ話し、伝えていただけたら有り難く思います。学校でも「ともに学び ともに育つ」という教育目標や、前任の門河校長の「一人ひとりに寄り添った対応」という方針を大切に引き継ぎ、心がけ、職員一同努めて参りたいと思います。

蒸し暑さに加えて、疲れも出てくる頃かと思います。学校でも休息や水分補給、運動時等にはマスクを外すなど、体調を崩さぬよう注意深く学習を進めていきますが、ご家庭でも「早寝早起き朝ご飯」をはじめとした健康管理について引き続きご留意ください。

学校教育目標

めざす子ども像

『ともに学び ともに育つ 大道の子』

- ①心が豊かで思いやりのある子
- ②ねばり強く取り組む子
- ③学びあい共感しあえる子
- ④進んでチャレンジする子
- ⑤健康でたくましい子

7月の主な行事予定

- 1日(木) テストメール
- 2日(金) 職員事務作業日のため4校時
- 6日(火) 5年着衣泳学習
- 7日(水) 6年着衣泳学習 委員会活動
- 9日(金) ベルマーク回収日 職員事務作業日のため4校時
- 13日(火) PTA旗振り講習会13:30~
- 16日(金) 給食終了
- 19日(月) 大掃除
- 20日(火) 1学期終業式
- 9月1日(水) 2学期始業式
- 3日(金) 給食開始(全学年4校時)



8月11日(水)~15日(日)は、学校業務停止期間になります。電話や来校対応ができませんので、ご承知おきください。

※詳しくは各学年だよりをご覧ください。

「おはようボランティア」大募集

本校でも児童の登下校時、「おはようボランティア」の皆様には活動をしていただいておりますが年々、人数が減少しております。おはようボランティア活動は、挨拶ができる子の育成と登下校時の見守りが趣旨で、交通指導は行いません。時間のあるとき腕章をつけていただきながら、ご自宅前など都合のよい場所で、また犬の散歩の時間などに、子どもたちへの挨拶のお声かけをしていただける方を随時募集しています。保護者の皆様の中で、またお知り合いの方で、趣旨に賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非学校までお知らせください。ご登録いただけますと、活動時の事故に対する保険に自動加入となります。年に数回でも大丈夫です。無理をしない、ライフスタイルに合った活動で、お知り合いの方とともに楽しみながら、地域の子どもたちに目を向けふれあいを深めていただけますと大変嬉しく思います。

また、こういった活動を全国的に広めていくことを目的に、文科省より「登下校見守り活動ハンドブック」という資料が出されました。ご興味のある方は、一度ご覧ください。

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/tougekoumimamori/index.html>



【運動会について】

残念ではありますが、今年度も運動会という形での行事は行わないこととしました。保護者の皆様に参観に来ていただくことが難しいことが主な理由です。代わりとして、10月末ごろ、昨年度のような形で体育の授業参観を行います。日程等、詳細が決まりましたら、各学年だよりでお知らせします。

【あいさつ運動】

事務局委員会の活動として、児童門に委員会の児童が立ち、登校してくる子どもたちにあいさつをする運動が行われました。あいさつをきちんと返せる子、自分から先にあいさつする子、恥ずかしがりながら前を通り過ぎる子など、反応は様々です。あいさつすることは恥ずかしいことではなく、とても素晴らしいことですから、誰に対しても自信をもって、笑顔であいさつを返せるといいのになと思います。

また、学校のいろいろな場所に、あいさつに関して各クラスで話し合った様々な取り組みが掲示されています。どれも大切なことで、よく考えたなあと思います。いくつかご紹介します。



- 相手の目を見てあいさつする
- 身近な人からあいさつする
- 明るく笑顔であいさつする
- 知らない人にもあいさつ
- 声を出す。恥ずかしい人はおじぎで返してなれていく
- 自分からあいさつする習慣をつける
- 心をこめてあいさつする



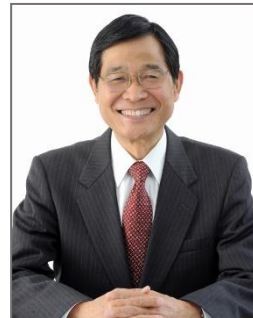
【講演会のお知らせ】

藤沢市教育文化センター 教育文化講演会

変化する時代に生きる子どもの心を育てる

～アドラー心理学からの大人の関わり～

社会性、創意工夫力、臨機応変力を育み、自立心・責任感・貢献感を子どもが身につけるには、周りの大人はどのように関わればよいでしょうか。子どもを伸ばすアドラー心理学の4つのキーワードである「尊敬」「共感」「信頼」「勇気づけ」の理解を深めることを通して、よりよい関わりかたを一緒に考えましょう。



【講師】 有限会社ヒューマン・ギルド
代表取締役 岩井 俊憲 氏

【経歴・資格等】

アドラー心理学カウンセリング指導者、上級教育カウンセラーの資格を持ち、勇気づけによるコミュニケーション研修全般（リーダーシップ、コーチング、カウンセリングマインド、メンタルヘルスなど）を30年以上に渡り行っています。

と き 8月17日（火）14:00～16:15
（入場無料 手話通訳有）

と ころ 湘南台文化センター市民シアター又はオンライン

定 員 会場参加 100人（先着順）

申込み （会場参加）電話 Tel (50) 8300

（オンライン参加）申込フォーム（二次元コード）

7月12日（月）～7月30日（金）

電話受付 平日 8:30～17:00

問合せ 教育文化センター Tel (50) 8300

